

デジタル表現基礎実習

第5回 音楽制作ソフト Domino ②

伊藤 穰

今回の内容

- Dominoで作曲（ミニマルミュージック）
- コードに併せて作曲
- より良い音を使うには

Dominoの使い方

- 最初に環境設定（Midi Outデバイス）
- [トラック]メニューでトラックを選択
 - テンポはConductor
 - リズムトラック（ドラム）はA10
 - オニオンスキン機能で他のトラックを見ることも
- 楽器の変更は[挿入]>[プログラムチェンジ]
- 音量は「ベロシティ」で変更できる

ミニマルミュージック

- 短いフレーズを繰り返すことで曲を構成する
 - テクノ、現代音楽
 - 民族音楽
 - ロック音楽の「リフ」も、ミニマルミュージック的だと考えられる
 - ゲーム音楽

提出課題①

- 2小節から4小節の短いフレーズを繰り返して曲を作る
 - 全体で8小節以上
 - 可能ならばできるだけ長く
 - 難しい場合は白鍵のみを使う
 - リズムトラック、可能なら伴奏もつける
 - 楽器、テンポは自由
- ファイル名「**学籍番号 第5回ミニマル.dms**」
 - 「ファイル」>「名前をつけて保存」から
 - 回収フォルダへ

「ミニマル」
ではない！

フレーズを作るときには

- 作曲に慣れないうちは
 - 白鍵（白い鍵盤）のみを使うようにする
 - 網掛け部分を使わない
 - 音符によって音の長さを変えて、リズムを作る

コードについて

- 音楽での「コード」は和音
 - 複数の音を同時に鳴らす
 - 音の高さを三度ずらすと合いやすい
 - ドレミファソラシドのうち、ルート音（一番低い音）が「ド（C）」ならば、ドから数えて三つ目、「ミ（E）」の音が合いやすい
 - コーラスの場合も三度ずらしている場合が多い
 - 三つの音の和音（三和音、トライアド）は、ルートがドなら「ドミソ」となる

コードに基づいた作曲

- コードに合う音を探す
 - コードに含まれる音ならば确实
 - コードに含まれる音どうしをつなぐ音も合う可能性はある
- 音符の長さにも変化を持たせる
 - 4分音符だけでなく、8分音符も混ぜてみる
 - 休符（無音）も入れてフレーズを区切ってみる
- 既存曲をパクリ
 - 参考にしつつ、変化を加える
 - 著作権法上、そのまま使ってはいけない

提出課題②

- 2種類のコードに合わせて作曲（1曲）
 - 4小節を2回繰り返す
 - 2回目はコードを多少変更してもよい
 - リズムトラックもつける
 - 楽器、テンポは自由
 - ファイル名
 - 「学籍番号 第5回カノン.dms」
 - 「学籍番号 第5回王道.dms」
 - 両方とも名前をつけて保存 からデスクトップに保存し共有フォルダ>回収フォルダに提出

どちらかひとつ
でOK!